

予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

支出科目 款：民生費 項：社会福祉費 目：老人福祉費

事業名 介護支援専門員法定研修等事業費補助金 (地域医療介護総合確保基金(介護分))

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 高齢福祉課 事業者指導係 電話番号：058-272-1111(内3468)

E-mail：c11215@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 1,400 千円 (前年度予算額： 1,400 千円)

<財源内訳>

| 区 分 | 事業費 | 財 源 内 訳 | | | | | | | |
|-----|-------|------------|------------|------------|------------|-----|-------|-----|------------|
| | | 国 庫 支出金 | 分担金 負担金 | 使用料 手数料 | 財 産 収 入 | 寄附金 | その他 | 県 債 | 一 般 財 源 |
| 前年度 | 1,400 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1,400 | 0 | 0 |
| 要求額 | 1,400 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1,400 | 0 | 0 |
| 決定額 | 1,000 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1,000 | 0 | 0 |

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

介護保険制度の要である介護支援専門員については、資格取得のための実務研修のほか、5年に1度の更新研修等の法定受講が課せられている。感染症対策を徹底し、安定的かつ安全に法定研修を実施する体制を整備するため、県指定研修実施機関が実施する感染症対策に係るかかり増し経費の補助を実施する。

(2) 事業内容

県指定研修実施機関に対し、感染症対策に要したかかりまし費用に対し補助を行う。

上限額は、実務研修、専門研修、再研修、更新研修、主任介護支援専門員研修を実施する機関については1,000千円、主任介護支援専門員更新研修を実施する機関については400千円。

(3) 県負担・補助率の考え方

地域医療介護総合確保基金 10/10 (国2/3 県1/3)

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

| 事業内容 | 金額 | 事業内容の詳細 |
|------|-------|----------------------------|
| 補助金 | 1,400 | 指定研修実施機関に対する補助金 (感染対策経費補助) |
| 合計 | 1,400 | |

決定額の考え方

事業内容を精査し、所要額を計上します

4 参考事項

(1) 国・他県の状況

国の基金事業に基づいて実施。

(2) 事業主体及びその妥当性

法定研修の実施主体は県であり、指定研修実施機関に対し、新型コロナウイルス感染症対策に要する経費の補助を行うことが妥当。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

感染症対策を徹底し、安定的かつ安全に法定研修を実施する体制を整備するため、県指定実施機関が実施する感染症対策に係るかかり増し経費の補助を実施する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

| 指標名 | 事業開始前 (R 1) | R4年度 実績 | R5年度 目標 | R6年度 目標 | 終期目標 (R 6) | 達成率 |
|-------------------|----------------|------------|------------|------------|---------------|------|
| | | | | | | |
| ①研修の開催数 (全8研修) | 8 | 8 | 8 | 8 | 8 | 100% |

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

| | |
|---------------|---|
| 令和 3 年度 | 新型コロナウイルス感染症の影響により1つの研修を中止したものの、感染症対策を実施したことにより、7つ研修を実施することができ、県内の介護支援専門員を養成することができた。 |
| 令和 4 年度 | 感染症対策を実施したことにより、すべての研修を中止・延期等することなく実施することができ、県内の介護支援専門員を例年通り養成することができた。 指標① 目標：8 実績：8 達成率：100% |
| 令和 5 年度 | 感染症対策を実施することにより、すべての研修を中止・延期等することなく実施する。 指標① 目標：8 実績： ____ 達成率： ____ % |

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

| | |
|--|---|
| ・ 事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3:増加している 2:横ばい 1:減少している 0:ほとんどない | |
| (評価) 3 | 介護保険制度の要である介護支援専門員の必要性は高まっており、安定的かつ安全に法定研修を実施する必要がある。 |
| ・ 事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3:期待以上の成果あり 2:期待どおりの成果あり 1:期待どおりの成果が得られていない 0:ほとんど成果が得られていない | |
| (評価) 2 | 令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止した研修もあったが、当該補助事業を実施してからは、安定的かつ安全に研修を実施することができている。 |
| ・ 事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2:上がっている 1:横ばい 0:下がっている | |
| (評価) | |

(今後の課題)

| |
|-----------------------------|
| ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 |
| 今後も感染拡大の懸念が拭えない間は継続する必要がある。 |

(次年度の方向性)

| |
|---|
| ・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか |
| 新型コロナウイルス感染症の流行状況や国の対応を踏まえ、今後の事業の継続について判断する。 |

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

| | |
|----------------------------|-------|
| 組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課 | |
| 組み合わせる理由 や期待する効果 など | 【〇〇課】 |